

理学療法士のための 児童生徒等の運動器の健康に 関する教育セミナー

～「スクールトレーナー®」の育成を展望して～

公益財団法人運動器の健康・日本協会 教育セミナー 2022

学校健診における運動器検診の本格的導入（2016年4月）以降、学校保健現場では、その質の向上とともに、健診後の事後措置及び継続的な運動器疾患・障害の予防教育の充実強化への努力がなされています。加えて、新型コロナウイルス（COVID-19）の拡大に伴う行動制限が継続され、児童生徒等の運動器の健康に少なからぬ負の影響がもたらされ、早急に、有効かつ持続的な学校現場における運動器の健康指導への対応が求められています。

そこで、運動器の健康・日本協会学校保健委員会では、長年検討してきた「スクールトレーナー®」（登録商標）を、全国の学校（幼稚園：1万園、小学校：約2万校、中学校：約1万校、高等学校：約5千校、特別支援学校：約1千校 / 児童生徒等数：約1,400万人）に配置し、「チーム学校」として児童生徒等の運動器の健康を推進、心身の健全育成を図る「スクールトレーナー制度」を展望しています。本教育セミナーは、その制度を見据えて企画したものです。

日時：2022年11月12日（土曜日） 13:30～17:30

参加資格：理学療法士の資格を有する方

参加費用：無料

方式：オンライン（zoom ウェビナー使用）

定員：1000名

主催：公益財団法人運動器の健康・日本協会

協力：公益社団法人日本理学療法士協会

申し込み方法：下記 URL or 右 QR コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/cScsdSaTBZ38jKsd7>

問い合わせ先：公益財団法人運動器の健康・日本協会 mail. office@bjd-jp.org

TEL:03-3816-3755 東京都文京区本郷2丁目21-3 青木ビル5F



開始	終了	所要	プログラム	登壇者
13:20	13:30	10分	開催前の注意事項	吉井智晴 運動器の健康・日本協会 理事（東京医療学院大学教授、日本理学療法士協会副会長）
13:30	13:35	5分	開会挨拶	丸毛啓史 運動器の健康・日本協会 理事長（学校法人慈恵大学理事 東京慈恵会医科大学特命教授）
[第1部] 基調講演				
13:35	14:05	30分	①学校健診における運動器検診導入の経緯と効果、今後の課題	内尾祐司 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会担当理事（島根大学整形外科学教授）
14:05	14:35	30分	②学校保健の組織・体制と今後の課題	衛藤隆（東京大学名誉教授 健康教育学・小児科学、元中央教育審議会委員）
< 休憩① 10分 >				
[第2部] 講義				
14:45	15:05	20分	①児童生徒等の運動器の疾患・障害の実態	高橋敏明 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会委員長（愛媛大学スポーツ健康科学教授）
15:05	15:25	20分	②学校医から見た児童生徒等の運動器の健康課題	山中龍宏 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会委員（緑園こどもクリニック院長 横浜市）
15:25	15:45	20分	③保健室から見た児童生徒等の運動器の健康課題	川口聖子（千葉県立千葉西高等学校養護教諭 全国養護教諭連絡協議会 副会長）
< 休憩② 10分 >				
15:55	16:15	20分	④弁護士から見た児童生徒等の運動器の健康課題	望月浩一郎 運動器の健康・日本協会 監事（パークス法律事務所）
16:15	16:35	20分	⑤理学療法士による学校における児童生徒等への運動器外傷の予防教育の実際	板倉尚子 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会委員（日本女子体育大学健康管理センター） 鈴木享之 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会委員（長汐病院リハビリテーション科）
16:35	16:55	20分	⑥日本理学療法士協会における学校保健への参画の取り組みの現状と課題	大工谷新一 運動器の健康・日本協会 学校保健委員会担当理事（北陸大学医療保健学部教授 日本理学療法士協会副会長）
< 休憩③ 5分 >				
[第3部] 総合討論（質疑応答と意見交換）				
17:00	17:25	25分	質疑応答 = 講師全員に対して順番に	第1部の質問時 座長：内尾祐司 第2部の質問時 座長：高橋敏明
17:25	17:30	5分	閉会挨拶	武藤芳照 運動器の健康・日本協会 業務執行理事（東京大学名誉教授）
17:30			事務連絡	事務局

PROFILE



丸毛 啓史 まるも けいし

理事長, 学校法人慈恵大学 理事, 東京慈恵会医科大学 特命教授

〈略歴〉 1981 年, 東京慈恵会医科大学卒業. 1984 年, 米国コネチカット州立大学, 1986 年, 米国デラウェア州立大学へそれぞれ留学. 2006 年, 東京慈恵会医科大学整形外科学講座担当教授. 2013 年, 同大学附属病院長. 現在は学校法人慈恵大学理事, 東京慈恵会医科大学特命教授. 2019 年から公益財団法人運動器の健康・日本協会の第 6 代目理事長.



吉井 智晴 よしい ちはる

成長期のスポーツ外傷予防啓発委員会担当理事, 東京医療学院大学教授, 公益社団法人日本理学療法士協会副会長

〈略歴〉 1987 年, 理学療法士免許取得. 聖マリアンナ医科大学病院, 正吉福祉会で臨床経験を積み, 専門学校東京 医療学院専任教員を経て, 2012 年東京医療学院大学准教授, 2018 年より現職. 2009 年 公益社団法人日本理学療法士協会理事, 2021 年より副会長. 2017 年, 運動器の健康日本協会理事成長期のスポーツ外傷予防啓発委員会担当



武藤 芳照 むとう よしてる

業務執行理事, 東京健康リハビリテーション総合研究所所長, 東京大学名誉教授

〈略歴〉 1975 年, 名古屋大学医学部卒業. 東京厚生年金病院整形外科医長を経て, 東京大学教育学部助教授, 同教授, 同大学院教授, 同研究科長・学部長, 理事・副学長に就任. 平成 25 年 4 月より日体大総合研究所所長等を経て, 2018 年 4 月より現職. 医学博士. スポーツ医学・身体教育学の立場から, 健全なスポーツの普及・振興や高齢者の転倒予防, 舞台医学に関する教育・研究・実践活動に従事. 少林寺拳法連盟顧問, 日本学生野球協会理事



内尾 祐司 うちお ゆうじ

学校保健委員会担当理事, 島根大学医学部整形外科学講座 教授

〈専門分野〉 整形外科, スポーツ整形外科, 膝関節外科, 末梢神経障害

〈第 1 部基調講演①〉「学校健診における運動器検査導入の経緯と効果、今後の課題」

平成 26/2014 年に発布された省令「学校保健安全法の一部改正」に基づき, 平成 28/2016 年から学校における定期健診(学校健診)において運動器検査が導入されてから 6 年が経過した. 本口演では本検査導入に至る背景や経緯・意義を述べるとともに今後の課題について考察する



衛藤 隆 えとう たかし

東京大学名誉教授, 元中央教育審議会委員(第 3 ~ 7 期), 医師

〈専門分野〉 学校保健学, 母子保健学, 健康教育学, 小児科学. とくに学校の健康診断, ヘルスプロモーション, セーフティプロモーション.

〈第 1 部基調講演②〉「学校保健の組織・体制と今後の課題」

明治期の学校衛生から現代の学校保健まで連綿と続く歴史を踏まえた日本の学校保健体制の概略を押さえた上で, 現代の児童生徒の発育発達および健康上の課題から近未来を見据え, 考慮すべきことは何かを解き明かす.



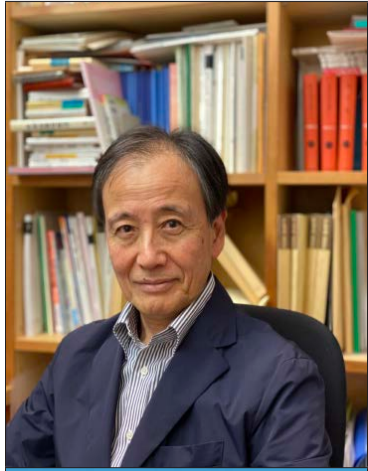
高橋 敏明 たかはし としあき

学校保健委員会委員長, 愛媛大学スポーツ健康科学教授, 整形外科医

〈専門分野〉 整形外科全般, スポーツ医科学, 学校の産業医や健康管理医.

〈第 2 部講義①〉「児童生徒等の運動器の疾患・障害の実態」

児童生徒の運動器の疾患・障害は, 運動不足による運動機能不全とスポーツのし過ぎによる運動器の障害による 2 極化が増加しています. そこで, 高頻度かつ要手術の疾患や障害の診断および現場対応について説明します.



山中 龍宏 やまなか たつひろ

学校保健委員会委員，緑園こどもクリニック院長，小児科医

〈専門分野〉小児科学．とくに総合小児科学，小児保健学，傷害制御学．事故による子どもの傷害の予防を専門とする．

〈第2部講義②〉「学校医から見た児童生徒等の運動器の健康課題」

日本スポーツ振興センターの災害共済給付のデータを見ると，9割以上は負傷となっている．このビッグデータを活用して，学校管理下の傷害を予防する活動に取り組んでいる．この中から，理学療法士と一緒に取り組んだ事例について紹介する．



川口 聖子 かわぐち しょうこ

全国養護教諭連絡協議会・副会長，千葉県立千葉西高等学校・養護教諭

〈専門分野〉高等学校に勤務する養護教諭（保健室経営，応急処置，保健教育，健康相談，環境管理など）

〈第2部講義③〉「保健室から見た児童生徒等の運動器の健康課題」

本校のR2年度～R4年度入学時に実施した運動器の健康調査と運動器検診の結果を参照しながら，運動器の健康課題解決にむけて理学療法士に期待することを一考する．



望月 浩一郎 もちづき こういちろう

監事，パークス法律事務所・弁護士

〈専門分野〉労働，スポーツ，医療分野の法的問題．特にこれらの分野の事故やトラブルについての予防に必要な提言，及び解決についての提言助言

〈第2部講義④〉「弁護士から見た児童生徒等の運動器の健康課題」

学校健診において運動器検診が導入された法改正の経過と目的及び現在の児童生徒に見られる運動器の外傷・障害の現状に照らして，理学療法士に期待されている役割について紹介する．



板倉 尚子 いたくら ひさこ

学校保健委員会委員，日本女子体育大学健康管理センター理学療法士，JSPO-AT，日本理学療法士協会理事，

東京都理学療法士協会理事，日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会トレーナー班長

〈専門分野〉女子体育大生のアスレティック リハビリテーションを専門とし，成長期のバレーボールによる障害予防，および学校保健・安全事業推進に関わる．

〈第2部講義⑤〉「理学療法士による学校における児童生徒等への運動器外傷の予防教育の実践」

学校から理学療法士への相談内容は「姿勢不良」や「運動のぎこちなさ」が多く，これらの身体的健康課題を改善するための運動指導など，東京都理学療法士協会における学校保健事業を紹介する．



鈴木 享之 すずき たかゆき

学校保健委員会委員，社会医療法人社団大成会 長夕病院 理学療法士，東京都理学療法士協会理事，スポーツ理学

療法運営担当者，学校保健部部長，東京都フェンシング協会 医事委員，東京都立広尾看護専門学校 准教授

〈主な専門分野〉医療機関にて子どもから高齢者そしてコロナ感染者等，様々な方に理学療法士としてリハビリテーションを行っている一方，小中学校における安全教育や東京都内を中心とした保育施設，小中学校，障害者福祉施設，公民館，地域のスポーツ大会において，成長に即した運動／身体づくり／障害予防等の活動を行なっている．また，東京都フェンシング協会主催大会においては，ジュニア世代を中心に試合中の急性期対応や障害予防に努める活動も行なっている．



大工谷 新一 だいくや しんいち

学校保健委員会担当理事，北陸大学医療保健学部教授，公益社団法人日本理学療法士協会副会長，理学療法士

〈主な専門分野〉理学療法学，スポーツ医科学，運動神経生理学．とくにスポーツ外傷・障害の予防や外傷・障害からの競技復帰に関する臨床，研究，教育．

〈第2部講義⑥〉「日本理学療法士協会における学校保健への参画の取り組みの現状と課題」

日本理学療法士協会では，これまで特別支援教育分野を含む学校保健分野で様々な活動を実施してきました．今回は，日本理学療法士協会，都道府県の理学療法士会でのこれまでの代表的な活動を概したうえで，今後の展望や課題をお示ししたいと思います．